

先端ITの技術者育成と活用推進を目指して ~AITCにおけるビジネスAR & クラウド技術の活動ご紹介~

2012年2月1日

先端 I T活用推進コンソーシアム (AITC)

東日本大震災により犠牲になられた方々に心からの哀悼を、 被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。 一日も早い生活再建、復興をお祈りいたします。

本日のアジェンダ



- 13:30~ オープニング / AITC概要紹介
- 13:35~ 講演-1 「AR-小さくて大きな話」 武 理一郎(ビジネスAR研究部会サブリーダー 富士通/富士通研究所)
- 14:15~ 講演-2 「目玉おやじロボット」と「タイムトラベルナビ」 中川 靖士 (ビジネスAR研究部会サブリーダー 日本ユニシス)
- 14:35~ AITC活動紹介
- 14:50~ 講演-3 「クラウド-Mahoutを使ったプロトタイプ」 荒本道隆(クラウド・テクノロジー研究部会リーダー アドソル日進)

AITCの概要



設立 : 2010年9月8日

設立の目的: 企業と社会における先端情報技術の活用と

技術者育成の推進を目指す

・先端ITの適用にかかわる課題(安定性や機密性等)を、複数の企業が共同で研究・検証・実証などを行うことで、企業における先端ITの適用サイクルを早め、同時に先端ITに知見の深い技術者を育成し、もって先端IT活用による企業活動の価値向上に資する

・本会の活動によって、安定性や機密性を求める社会基盤にも先端ITの活用が 進むよう、活動の発展を目指す

会員: 会員(法人、個人事業主)、学術会員、個人会員、特別会員

会長: 鶴保 征城 (IPA顧問、HAL校長)

顧問: 稲見 昌彦 (慶応義塾大学大学院 教授)

萩野 達也 (慶応義塾大学 教授)

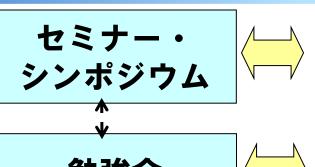
橋田 浩一 (産業技術総合研究所 ラボ長)

丸山 不二夫(早稲田大学大学院 客員教授)

山本 修一郎(名古屋大学大学院 教授)

活動の形態





最新情報を入手する場

内外著名人による講演、交流の場

- ・勉強会の対象となる先端IT
- ・旬の話題、関心の高いトピックス
- ・製品・サービスの紹介

勉強会

1Cycle:3分月程度

如



特定の先端ITに関して、参考文書を読み、 試しに使ってみる場

スキルを身につけ、ノウハルを共有する場特定の先端ITを取り上げ、調査し、 試用に基づき評価し、可能性のアセスをし、 知見の共有をし、報告書の作成を目指す。

プロジェクト



部会間/外部団体との連携で研究を行う場 先端ITを使った実証実験、報告書/提言書の作成 実証実験ではシナリオ作成→システム設計→実装を行う 公墓による参加者墓集

発表会



実活動に基づく情報と知見を共有する場 勉強会の活動、部会の活動や成果、 プロジェクトの成果物を発表する。

2011年度の活動対象



ネットデバイス・アプリケーション分野

(iPhone, iPad, Androidなど)

ユーザーエクスペリエンス技術分野

(HTML5, Ajaxなど)

実世界と情報世界の重ね合わせ分野 (ARなど)

講演1&2

コンテキスト・コンピューティング分野

(Semantic Web, Service Engineeringなど)

クラウド・テクノロジー分野

(Hadoop, NoSQLなど)

講演3

ソーシャル・コミュニケーション分野

(Twitter, Facebook, OpenSocialなど)

ビジネスAR研究部会





AITCにおけるAR(拡張現実)の捉え方

- 現在のARはコンテンツ表現に比重が置かれており、 ビジネスもコンテンツビジネスが主流
 - AITCでは、ARはITを利用する現場や様々なビジネスで 変革をもたらすものであり、発展途上であると捉える



ビジネスにARを活用するという観点を 「ビジネスAR」と定義し、 「ビジネスAR研究部会」の活動を開始

ビジネスAR研究部会





■活動目的

最先端のAR技術の把握と習得およびビジネス推進力のある AR適用方法について研究すること

■活動内容

- 1)ビジネスと AR の相関関係を見える化し、AR の有効性を検証
- 2)ビジネス AR の実現方法とするプラットフォームに関する 考察と検証
- 3)AR 技術への理解を深めるための試作トライアル
- 4)近未来のビジネスシーンにおけるビジネス AR の提言
- 5)協働プロジェクトに参画し、AR の有効性を実証

クラウド・テクノロジー研究部会



- 勉強会 ・主としてMML (Medical Markup Language) とGPV(Grid Point Value)を 例題にとり、データ特性とHadoopとの相性などを検討
 - ・各自のPCに環境を構築、Hadoopを使ってMMLの集計のハンズオンを実施

部会活動 2011年4月~

- 1 MML(Medical Markup Language)を使った実証実験 (大量の、小さなXMLデータに対する集計処理)
- ②GPV(Grid Point Value)を使った実証実験 (大量データを人が理解し易いよう可視化)
- ③クラウド関連技術調査

(Hadoop以外のクラウド関連技術を調査)

④ガイドラインの調査

(クラウドが、各ガイドラインに適合するかを調査)

5勉強会の継続

(部会活動成果の伝播を目的に、ハンズオン形式の勉強会を開催)

その他の部会活動について



コンテキスト・コンピューティング(CC)研究部会

・ 近未来の情報社会をビジョンとして描き、コンテキスト・コンピュー ティングにより個人と社会のインテリジェンスが階層的に連動する 情報基盤を提言する

ユーザーエクスペリエンス(UX)技術部会 <New!>

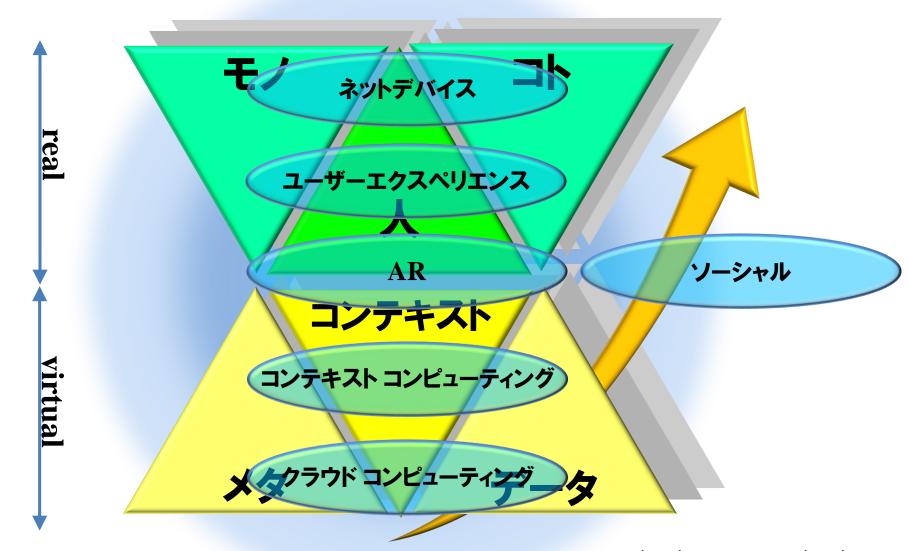
・ 優れたUXを提供するITを実現するための開発手法や技術の 実践と習得を活動目的とする

ネットデバイス アプリケーション(NDA)部会 <New!>

スマートフォン、タブレット端末、スレート端末などのネットデバイスの特性を最大限に引き出した企業内における業務に活用できるアプリケーションの調査、検討、プロトタイプ開発を通してネットデバイスを活用した新しいビジネススタイルの在り方を提言する

2011 AITC's View





2011:2011/09/01 ~ 2012/08/31

参加のお誘い



- ・AITCと活動に関する情報 AITCイベントカレンダー(部会&セミナー等) → http://aitc.jp/
- ニュース配信の登録(会員、非会員に同一のニュース配信)→http://aitc.jp/ml/
- ・入会は通年(9月1日~翌8月31日)可能
- ・入会検討を前提に、お試し参加も可能 ご相談は<u>staff@aitc.jp</u>まで